

桑名・伊賀・亀山・津・松阪・玉城・鳥羽 城郭めぐり

桑名城跡

伊賀上野城

伊勢亀山城跡

津城跡

松坂城跡

田丸城跡

鳥羽城跡

7つの城郭をめぐり
スタンプラリー開催中!

名産の伊賀牛や松阪牛、伊勢海老や鮑など海の幸に銘菓や名物など
7つの観光協会から特産品を抽選でプレゼント!



桑名城跡

「海道の名城」。
 「抗戦か恭順か」歴史に
 翻弄された明治維新を語る城跡。



揖斐川からみた蟠龍櫓



九華公園



桑名市物産観光案内所に
 スタンプを設置しています。

① 桑名市物産観光案内所

桑名市有楽町59
 TEL 0594-21-5416
 ■開館時間 9:00~17:00
 ■休館日 12月29日~1月3日
 「桑名城」御城印も販売

スタンプ
 設置場所



桑名城石垣



天守閣跡

関ヶ原の合戦後、1601(慶長6)年、初代藩主の本多忠勝が近世城郭を築きました。桑名は古来より湊町として栄えた街で、その後も歴代城主は東海道と水運を利用した町衆のための街づくりを行いました。桑名城は揖斐川を利用した水城でかつては95の櫓を有する「海道の名城」と称えられました。現在は石垣の一部と外観を復元した「蟠龍櫓」を見る事ができます。また周辺には東海道唯一の海路「七里の渡し」があります。大坂夏の陣で助け出された家康の孫・千姫と忠勝の孫・本多忠刻が会ったのが七里の渡しであったと言われています。

幕末は十五代将軍徳川慶喜、会津藩主松平容保、桑名藩主松平定敬が幕府の中核として、政局を主導しましたが、鳥羽伏見の戦いで敗れ「朝敵」となる憂き目を見ます。藩主不在の桑名城では抗戦か恭順か激論となり、鎮国守国神社の神籤により一旦は抗戦と決定しましたが、無血開城となりました。新政府軍は辰巳櫓を焼き開城の証としました。城は壊されましたが1928(昭和3)年、元桑名藩主で造園家の小沢圭次郎が「九華公園」として整備、また天守閣跡には定敬らが建てた戊辰殉難招魂碑が残ります。なお「九華」とはかつて「九華城」と呼ばれたことに由来します。



本多忠勝公

① 観光案内所以外の
 「桑名城」御城印販売所



②

② 住吉浦休憩施設

〒511-0005
 桑名市太一丸地先
 [営業時間] 午前9時~午後5時
 [休業日] 12月29日~1月3日
 [連絡先] 0594-23-3010
 ②には城郭めぐりスタンプも設置



③ 宿場の茶店 ハジメ

〒511-0021
 桑名市川口町8番
 [営業時間] 午前 11時~午後6時
 [定休日] 毎週月曜日
 [連絡先] 080-8251-5056



③

本多忠勝の桑名入封420
 年を記念して作成された
 御城印販売中!
 桑名といえば蛤。自然の塩気とう
 まみたつぷりの地ハマグリを市内
 飲食店でご堪能いただいた後は、
 本多忠勝像を仰ぎ見ながら、桑名
 城本丸跡と二の丸跡に造られた九
 華公園へ。さくらやつつじ、花菖
 蒲など花の名所としても親しまれ
 ています。本多家の家紋「立ち
 葵」をあしらった御城印は桑名城
 跡ご来訪の記念におすすめです。

「日本100名城®」に選定 **伊賀上野城**

戦国の世に築城の名手として知られる

藤堂高虎公が本丸を拡張して普請。

昭和に復興された天守閣が今も眩い。

内堀石垣の高さは日本一級



伊賀上野城(天守閣)



スタンプ
設置場所

だんじり会館内「伊賀上野観光インフォメーションセンター」にスタンプを設置しています。

伊賀上野観光インフォメーションセンター
(伊賀上野観光協会)

伊賀市上野丸之内122-4 だんじり会館内
TEL 0595-26-7788

■開館時間 8:30~17:00

■休館日 12月29日~1月1日

「伊賀上野城」御城印は、伊賀上野城(天守閣)でのみ販売

“忍者の里”と呼ばれる伊賀国は、山に囲まれた9里四方の小さな盆地、その中心は上野城下町です。町の北側の丘には白亜三層の伊賀上野城が、静かな雰囲気醸しながら綺麗な姿を見せていて、白鳳城の雅名があります。

天正13年(1585)、伊賀国を領した筒井定次が三層の天守を築き、北に表門を構えました。豊臣秀吉の没後、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝ち、豊臣政権の継承者としての地位を確立するに及んで、慶長13年(1608)、定次を失政を理由に改易、藤堂高虎が伊賀・伊勢の城主として伊予今治城から移り、自ら縄張りを指図、本丸を30mの高石垣で囲み、筒井古城を大拡張しました。しかし竣工直前の五層大天守は、慶長17年(1612)9月2日の暴風雨で倒壊、そのうち大坂夏の陣で豊臣方が滅亡したので城普請は中止され、城代家老が執政することとなりました。

現在の天守は、昭和10年(1935)、地元の名士川崎克氏が私財を投じて純木造の復興天守を再建、伊賀文化産業城と称しました。城跡は昭和42年(1967)に国史跡に、天守は昭和60年(1985)に伊賀市の文化財に指定されています。



藤堂高虎公



伊賀上野は、伊賀流
忍術の発祥地です！

上野公園(伊賀上野城址公園)には、日本で唯一の忍者(忍術)をテーマにした登録博物館である「伊賀流忍者博物館」があります。この博物館には、忍者が住んでいた仕掛けカラクリのある「忍者屋敷」や、忍者が使っていた道具や武器を展示している「忍術体験館」、また忍者の生活を紹介する「忍者伝承館」、そして、忍者が忍術を実演している「忍術ひろば」があり、手裏剣打ちの体験もできます。また、だんじり会館をはじめとした市内の「忍者変身処」で忍者衣装をレンタルしてまちなか散策を楽しむこともできます。



伊勢亀山城跡



亀山公園池 (亀山城外堀)



旧館家住宅



加藤家長屋門及び土蔵



**スタンプ
設置場所**

亀山市役所1階受付
にスタンプを
設置しています。

亀山市役所

亀山市本丸町577番地

TEL 0595-82-1111

■受付時間 8:30~17:15

■定休日 年末年始(12/29~1/3)



多門櫓



二之丸帯曲輪の土堀



目まぐるしく城主が入れ替わり
江戸時代は東海道の要衝であった。
多門櫓は県内に唯一現存する城郭建造物。

伊勢亀山城は、文永2年(1265)に関実忠が若山の地に築いたと伝えられます。中世の亀山に勢力を誇った関氏の居城で、現在の場所に16世紀中ごろまでには移っていたと考えられます。

天正18年(1590)、岡本宗憲によって天守を築造するなど修築を行い、本多俊次が寛永16年(1639)から3ヵ年を掛けて行った大改修によってほぼ現在の城地が確定しました。東海道の要衝ということもあって、城主はその多くが譜代大名で、延享元年(1744)に石川総慶が入城後は、明治まで石川家が城主を務めました。なお、丹波亀山城(京都府亀岡市)の天守を壊すよう幕府に命じられた出雲松江城主堀尾忠晴がまちがえて伊勢亀山城の天守を取り壊したと伝えられ、以後天守は再建されませんでした。

明治6年(1873)の廃城令により城内の建造物はその大部分が取り壊されましたが、現在は本丸東南隅の多門櫓(県有形文化財建造物)と石垣(県史跡)、外堀、二之丸から西出丸の北側の土居が良好な状態で残っています。また、発掘調査により発見された二之丸北埋門と帯曲輪が復原整備されています。



石川昌勝の甲冑
(写真：亀山市
歴史博物館提供)



関宿鳥居



鈴鹿峠



関宿

**東海道の亀山宿、関宿
に往時の面影が残る！**

亀山市には、東海道の四十六・四十七・四十八番目のあたる三つの宿場町「亀山宿」・「関宿」・「坂下宿」があり、江戸時代には、参勤交代や伊勢参りの旅人などで賑わいました。中でも、関宿は、現在でも古い町家200軒あまりが残っており、東海道で唯一、往時の町並みを色濃くとどめていることから、昭和五十九年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定。町に足を踏み入れると、まるでタイムトラベルで江戸時代に迷い込んだような気分を体験できます。

「続日本100名城®」に選定

津 城 跡

築城の名手、藤堂高虎公が改修した

典型的な近世城郭様式。

石垣の直線的な稜線が特徴です。



スタンプ
設置場所

高山神社に
スタンプを設置しています。

高山神社

津市丸之内27-16
TEL059-225-8558
■受付時間 9:00~16:00
■年中無休

織田信長の伊勢国侵攻に伴い地元の雄・長野氏に養子入りした弟・信包は、低湿地であった安濃川のデルタ地帯に新たに城を築きます。天正8年(1580)に完成したこの城が津城のルーツとなりました。ここは北を安濃川、南を岩田川に挟まれており、敵からの防御に優れた場所に城を築いたといえます。

文禄3年(1594)信包が秀吉に改易され、翌年新たに富田氏が津城主となります。知信・知高親子2代にわたる治世は約15年に及びます。

慶長13年(1608)徳川家康の命により、富田氏に替わり藤堂高虎が伊予国今治から伊勢・伊賀の城主として入府します。築城の名手・高虎は大坂包圍網づくりのため各地の天下普請に多忙を極めました。漸く慶長16年(1611)になり自領の津城と伊賀上野城の大修築にかかります。両城とも単なる城づくりではなく、来るべき泰平の世を見すえた新たな城下町の建設を構想したものでした。2017年に「続日本100名城」に選ばれた津城最大の特徴は、最大100mにも及ぶ幅の広い内堀と、本丸北側に代表される直線的な稜線を持った高石垣です。これは高虎の城づくりの特徴で、石垣の上に建つ白壁の櫓が堀の水面に映える姿はまさしく「水城」と言えます。



北畠氏館跡庭園



御殿場海岸潮干狩り



榊原温泉

**県都の津は、美人の湯や
森林セラピーなど魅力満点！**
津市は、昔から湊町として栄え津藩主が浜遊びとして始めた盾干しや潮干狩りなどで有名な白砂青松の海が広がります。また、榊原温泉は、古来から伊勢神宮の湯治場で、美肌効果も高いことから「美人の湯」としても知られています。
そして、東海圏で初めて森林セラピー基地に認定された美杉町は、その昔伊勢の国司として大変栄えていました。「続日本100名城」に選ばれた「北畠氏館」をはじめ歴史的遺産が数多く残っています。

「日本100名城®」に選定

松坂城跡

織田信長の娘婿で文武両道の
戦国武将・蒲生氏郷が築いた城。
穴太衆による野面積みが現存する。



**スタンプ
設置場所**
歴史民俗資料館内にスタ
ンプを設置しています。

歴史民俗資料館
■開館時間
9:00~16:30(4月~9月)
9:00~16:00(10月~3月)
■休館日
月曜日、祝日の翌日、年末年始
※展示替えて臨時休館あり



二ノ丸から見た御城番屋敷

※休館日は松阪駅観光情報センター、豪商のまち松阪 観光交流センターにスタンプを設置しています。

織田信長亡き後、羽柴(豊臣)秀吉に仕え天正12年(1584)南伊勢12万石の所領を与えられた蒲生氏郷は、四五百森に着目し新しい城造りに着手します。天正16年(1588)、城造りを始めてからわずか3年後、新しい城に本拠を移し、蒲生家に吉祥をもたらす「松」の字と秀吉の本拠地「大坂」の「坂」の字を併せ「松坂」と名づけました。

松坂城は、標高約38mの独立した丘陵(四五百森)に築かれた平山城で、北側を流れる阪内川を防御ラインとした要害の地に立地しています。丘陵を切通しで南北に分断し、中核部である北丘、城の鎮守神を祀る南丘、両丘の周囲の三ノ丸で縄張りが構成されています。

北丘は、本丸を中心として東側に二ノ丸、南側に隠居丸、西側にきたい丸を配し、周囲には堅固な石垣を巡らせています。また、城の周囲には三ノ丸を取り巻く形で土居(土塁)、その外側に堀がありました。

築城当時の石垣は、自然石を利用した穴太衆と呼ばれる石垣専門の職人による「野面積み」で、その石垣ひとつひとつを注意深く観察すると、古墳の石棺など他の石造物の部材も使用されていることがわかります。

松坂城跡の見どころは、全国でも屈指の壮大な石垣です。日本100名城にも選ばれ「国指定史跡」となっています。



蒲生氏郷公



ちよっとひと休みして
「松阪牛」を堪能！

きめ細かい霜降りと、箸で切れる柔らかな肉質はさすが世界に誇るブランド「松阪牛」です。醤油と砂糖を使った味付けのすき焼きや、お肉本来の味を楽しめる網焼きなど、どれも自慢の肉質で美味しさも絶品です。

また、味噌味などお店によって異なるタレで楽しめるホルモンもお値打ちで人気です。

「続日本100名城®」に選定 **田丸城跡**



富士見門



天守跡



村山龍平記念館に
スタンプを設置しています。

**スタンプ
設置場所**

村山龍平記念館

度会郡玉城町田丸114-1
TEL 0596-58-8212

■開館時間 8:30~17:00

■休館日 年末年始(12月29日~1月3日)



戦国時代、多くの武将たちが居城した南伊勢随一の名城。
野面積みの石垣が、今も美しく残ります。

田丸城は古来、玉丸城と称され、延元元年(1336)後醍醐天皇の吉野遷幸の時期に、北畠親房が伊勢の拠点として築きました。

永禄10年(1567)より織田信長軍の伊勢進攻を受け、その後天正3年(1575)より北畠信雄(織田信雄)が在城、同8年の焼失までの間に大々的に田丸城の改修を行いました。

関ヶ原合戦後、元和2年(1616)田丸城は津城主藤堂和泉守高虎の所領となり、同5年の紀州藩設置により紀州徳川家家老の久野丹波守宗成が城主となりました。

明治4年(1871)城内の建物は取り壊され、現在は石垣や堀、一部の建物を残すのみとなっています。

田丸城跡は築城時期が14世紀にさかのぼることから、当初の城は現在のような石垣は無く、丘陵に土塁を巧みに組み合わせた中世山城と同様の構造であったと考えられています。

その後16世紀の織田支配時期の改造時に石垣が構築され、藤堂家支配時期を経て紀州藩出城となり江戸期を通じて様々な改修がなされました。なお、北の丸跡や二の丸跡付近には古い時代の石垣が残存しています。

また、県内の城跡としては珍しく外堀が残されており、昭和28年(1953)、県史跡に指定されました。



織田信雄公
(總見寺所蔵)



玄甲舎



茶室



庭園

**田丸城主の家老が
建築した茶室兼別邸！**

弘化四年(一八四七)に田丸城主久野家の家老、金森得水により設計・建築された茶室兼居宅、玄甲舎。数寄屋造りの貴重な建物が、築一七〇年以上経過した今も当時のまま残っています。表千家茶道の免許皆伝を受けた得水は、しばしばここで茶会を催し、土族をはじめ当代一流の各界名士を招き、交流を深めたと伝えられています。

現在は建物の中を見学できる他、茶室の貸出・展示会などのイベントを行っています。季節ごとに様々な花が咲き、四季折々の景観が楽しめる庭園も見所のひとつです。

鳥羽城跡



スタンプ 設置場所

鳥羽市歴史文化ガイドセンター
内にスタンプを設置しています。

■開館時間／9:00～16:00
■休館日／火曜日

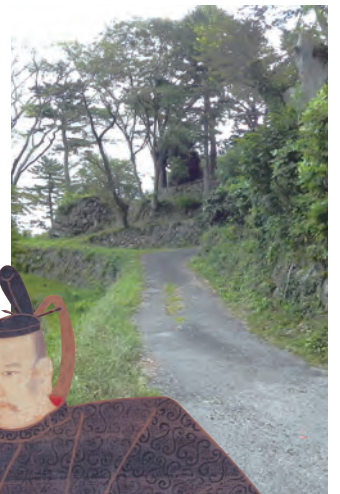
鳥羽城跡は、水軍の基地に適した、良港で知られる泊浦（鳥羽）の妙慶川河口部に位置し、標高40mの小山を中心に築かれた平山城で、南方山頂部に設けられた本丸を中心に、自然地形を利用して雛壇状に曲輪を配しています。

築城主は、織田信長や豊臣秀吉のもとで、水軍大将として活躍した九鬼嘉隆で文禄3年(1594)に竣工したとされています。

鳥羽城は、大手門は海に開いた水門で、内陸側には堀を巡らせ、四方を海に囲まれた「海城」でした。外曲輪を含めた総面積は32,280坪(約106,500㎡)で、内陸部からは藤口門、横町口門と相橋口門の3つの橋で連絡し、天守をはじめ、13の櫓が廃城時にはありました。城内は、絵図によれば、本丸の北西寄りに3層の天守があり、南側には本丸御殿がありました。

本丸跡の周囲には野面積みの石垣が残存し、当時の姿を留めています。その他にも鳥羽市民文化会館裏の家老屋敷跡周辺に石垣が残っています。堀は、大半が埋められて残っていませんが、妙慶川の相橋に堀の石垣が唯一残っています。石垣の石材は、カンラン岩と千枚岩を使用しており、これらの石材は、周辺の海岸部で採取されたものと考えられます。

戦国時代に水軍大将として活躍した九鬼嘉隆公。当時は四方を海に囲まれた「海城」。



九鬼嘉隆公



旅の疲れをいやす
絶景と海幸鳥羽のお宿！

風光明媚な鳥羽の各地区には個性あふれるお宿がたくさんあります。なかには、約60軒の温泉宿があり、旅の疲れをきつと癒してくれることでしょう。

また、伊勢志摩の海の幸は、古来より、朝廷に献上されており、鳥羽市も美味しい食材の産地として広く知られています。それぞれの季節を楽しめる新鮮な海幸をふんだんに盛り込んだ料理でもってなしいたします。旅のあとは、ゆったりと鳥羽のお宿でくつろぎ、九鬼嘉隆の愛した鳥羽の風景と海の幸を満喫してください。



7つの城郭をめぐるスタンプラリー開催!

所定の位置にスタンプを押して、7つ揃えば抽選で7名様に
名産の伊賀牛や松阪牛、伊勢海老や鮑あわびなど海の幸、各観光協会の
銘菓や名物など特産品を1つプレゼント!

●応募方法

所定の位置に7つの城郭スタンプを押してください。
7つのスタンプが揃った場所で確認印をもらい、下記の応募用紙を
切り取って提出すれば応募完了です。
郵送でもご応募いただけます。
その際は必ず、下記のいずれかの観光協会へお送りください。
応募用紙は各観光協会のホームページからもプリントアウトできます。
※年2回、6月と12月に抽選を行います。
※1回の抽選においてお一人様1回のご応募に限らせていただきます。



写真はイメージです。

◆抽選結果は各観光協会HPにて発表、
当選者には直接賞品を発送いたします。

応募用紙の郵送での送付はいずれかの観光協会へ

桑名市観光協会

〒511-0079 桑名市有楽町59
TEL 0594-41-2222 FAX 0594-21-5416
<https://www.kuwana.lg.jp/kanko/>

一般社団法人 伊賀上野観光協会

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内122-4 だんじり会館内
TEL 0595-26-7788 FAX 0595-26-7799
<https://www.igaueno.net/>

一般社団法人 亀山市観光協会

〒519-1111 三重県亀山市関町新所664-2
TEL 0595-97-8877 FAX 0595-96-0700
<http://www.kameyama-kanko.com/>

一般社団法人 津市観光協会

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津1F
TEL 059-246-9020 FAX 059-221-0811
<https://www.tsukanko.jp/>

一般社団法人 松阪市観光協会

〒515-0017 三重県松阪市京町507-2 松阪駅観光情報センター内
TEL 0598-23-7771 FAX 0598-26-4778
<https://www.matsusaka-kanko.com/>

玉城町観光協会

〒519-0433 三重県度会郡玉城町勝田4016-3
TEL 0596-58-7007 FAX 0596-58-9090
<https://tamaki-kanko.localinfo.jp/>

一般社団法人 鳥羽市観光協会

〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町1-7
TEL 0599-25-3019 <http://www.toba.gr.jp/>

キリトリ

城郭めぐりスタンプラリー応募用紙

お名前	ふりがな	ご住所	〒 □□□□-□□□□
			都道 府県
年齢	歳	連絡先電話番号	— —

よろしければアンケートにお答えください。

※該当の項目に☑をお願いします。

●最初に訪れた城郭はどこですか？

- 桑名城跡 伊賀上野城 亀山城跡
津城跡 松坂城跡 田丸城跡 鳥羽城跡

●城郭は何でお知りになりましたか？

- テレビ 新聞・雑誌 ホームページ等 SNS
家族・知人 その他 []

●城郭への移動はおもに何を利用されましたか？

- JR・近鉄 バス 乗用車 徒歩
その他 []

ご意見・ご感想があればお聞かせください。

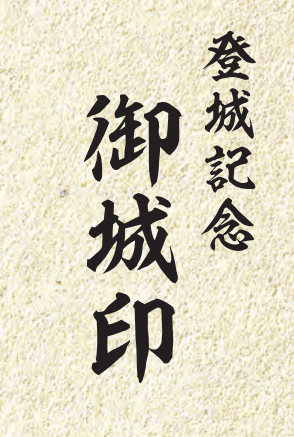
最終確認印

年 月 日

※ご記入いただいたご住所やお名前等の情報は、プレゼントの発送のみに使用いたします。他の目的での使用はいたしません。

キリトリ

主な道路と路線図



御城印の販売を行っております。各観光協会にお問い合わせください。

7つの城郭をめぐるスタンプラリー

下記の所定の位置にスタンプを押して、7つ揃えば抽選で7名様に名産の伊賀牛や松阪牛、伊勢海老や鮎あわびなど海の幸に各観光協会の銘菓や名物など特産品を1つプレゼント!

スタンプ押印用紙

※スタンプの重複は無効です。



◆伊賀上野城

だんじり会館内「伊賀上野観光
インフォメーションセンター」
にスタンプを設置しています。



◆桑名城跡

桑名市物産観光案内所施設と
住吉浦休憩施設に
スタンプを設置しています。



◆伊勢亀山城跡

亀山市役所1階受付に
スタンプを設置しています。



◆松坂城跡

歴史民俗資料館内にスタンプを設置しています。
※休館日には、松阪駅観光情報センター、
豪商のまち松阪 観光交流センターに設置。



◆津城跡

高山神社に
スタンプを設置しています。



◆鳥羽城跡

鳥羽市歴史文化ガイドセンター内に
スタンプを設置しています。



◆田丸城跡

村山龍平記念館に
スタンプを設置しています。

城郭めぐり完了の証

年
月
日

城郭までのご案内 access map

桑名城跡

桑名市観光協会

〒511-0079 桑名市有楽町59
TEL 0594-41-2222 FAX 0594-21-5416
https://www.kuwana.lg.jp/kanko/



交通のご案内

■車で越しの場合

名古屋	東名阪自動車道	約40分	一般道	約15分
大	名神高速	約30分	一般道	約15分
京	名神高速	約30分	一般道	約15分
都	名神高速	約30分	一般道	約15分
京	名神高速	約30分	一般道	約15分
都	名神高速	約30分	一般道	約15分

■航空機・列車で越しの場合

東	新幹線	約1時間40分	JR東本線/近鉄名古屋線	約20分
中	名鉄空港特急	約40分	名鉄本線/近鉄名古屋線	約20分
京	新幹線	約40分	名鉄本線/近鉄名古屋線	約20分
都	近鉄特急	約50分	近鉄特急	約1時間30分
関	南海特急	約40分	近鉄特急	約2時間
西	南海特急	約40分	近鉄特急	約2時間

伊賀上野城

一般社団法人 伊賀上野観光協会

〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内122-4 だんじり会館内
TEL 0595-26-7788 FAX 0595-26-7799
https://www.igauenou.net/



交通のご案内

■車で越しの場合

大	阪神高速道路	約20分	名阪国道	約35分
大	名神高速道路	約1時間	一般道	約25分
名	名神高速道路	約20分	名阪国道	約30分

■三重交通高速バスで越しの場合

北	新大阪駅	梅	約2時間
名	名鉄バス	セ	約1時間
大	名鉄バス	セ	約30分
大	名鉄バス	セ	約30分
大	名鉄バス	セ	約30分

伊勢亀山城跡

一般社団法人 亀山市観光協会

〒519-1111 三重県亀山市関町新所664-2
TEL 0595-97-8877 FAX 0595-96-0700
http://www.kameyama-kanko.com/



交通のご案内

■車で越しの場合

名	東名阪自動車道	約1時間
大	西名阪自動車道-名阪国道	約2時間
京	名神高速道路	約20分
都	名神高速道路	約40分

■航空機・列車で越しの場合

東	新幹線	約1時間40分	JR関西	約1時間10分
中	高速船	約45分	JR	約20分
京	JR華津	約1時間	JR関西	約18分
都	南海特急	約40分	JR関西	約6分

津城跡

一般社団法人 津市観光協会

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津1F
TEL 059-246-9020 FAX 059-221-0811
https://www.tsukanko.jp/



交通のご案内

■車で越しの場合

名	東名阪自動車道	約1時間10分
大	西名阪自動車道-名阪国道	約2時間
京	名神高速道路	約20分
都	名神高速道路	約20分

■航空機・列車で越しの場合

東	新幹線	約1時間40分	JR東海/近鉄特急	約50分
中	高速船	約45分	近鉄特急	約15分
京	近鉄特急	約2時間	近鉄特急	約2時間
都	南海特急	約40分	近鉄特急	約1時間50分

松坂城跡

一般社団法人 松阪市観光協会

〒515-0017 三重県松阪市京町507-2 松阪観光情報センター内
TEL 0598-23-7771 FAX 0598-26-4778
https://www.matsusaka-kanko.com/



交通のご案内

■車で越しの場合

名	東名阪自動車道	約1時間10分
大	西名阪自動車道-名阪国道	約2時間
京	名神高速道路	約20分
都	名神高速道路	約20分

■航空機・列車で越しの場合

東	新幹線	約1時間40分	JR東海/近鉄特急	約1時間10分
中	高速船	約45分	近鉄特急	約25分
京	近鉄特急	約2時間	近鉄特急	約2時間
都	南海特急	約40分	近鉄特急	約1時間30分

田丸城跡

玉城町観光協会

〒519-0433 三重県度会郡玉城町勝田4016-3
TEL 0596-58-7007 FAX 0596-58-9090
https://tamaki-kanko.localinfo.jp/



交通のご案内

■車で越しの場合

名	東名阪自動車道	約1時間10分
大	西名阪自動車道-名阪国道	約2時間
京	名神高速道路	約20分
都	名神高速道路	約20分

■航空機・列車で越しの場合

東	新幹線	約1時間40分	JR東海/近鉄特急	約1時間10分
中	高速船	約45分	近鉄特急	約25分
京	近鉄特急	約2時間	近鉄特急	約2時間
都	南海特急	約40分	近鉄特急	約1時間30分

鳥羽城跡

一般社団法人 鳥羽市観光協会

〒517-0022 三重県鳥羽市大明東町1-7
TEL 0599-25-3019 http://www.toba.gr.jp/



交通のご案内

■車・フェリーで越しの場合

東	東名阪高速道路	約2時間30分	一般道	約1時間40分	伊勢湾フェリー	約55分
名	東名阪自動車道	約1時間10分	一般道	約10分	伊勢湾フェリー	約10分
大	西名阪自動車道-名阪国道	約2時間	一般道	約45分	伊勢湾フェリー	約10分
京	名神高速道路	約20分	一般道	約20分	東名阪自動車道	約5分

■航空機・列車で越しの場合

東	新幹線	約1時間40分	JR東海/近鉄特急	約1時間35分
中	高速船	約45分	近鉄特急	約40分
京	近鉄特急	約2時間	近鉄特急	約2時間
都	南海特急	約40分	近鉄特急	約2時間